

株式会社三共製作所

大阪府東大阪市

生産性向上

需要獲得

担い手確保

ものづくり

サービス

ポイント

外国人材の育成により、同社の加工技術承継と生産体制の改革により、生産性向上を実現

- 日本語学校を設立し外国人材の育成を進め、社内外で積極的に活用している
- 生産体制の改革により、「中ロット・多品種」の生産性向上を実現
- モノづくり文化承継のためにセミナー開催や外国人材供給による社会貢献

企業基本情報

所在地	大阪府東大阪市鴻池町 2-6-37
電話/FAX	06-6744-5031/06-6745-5705
URL	http://www.sankyo-mfg.co.jp/
代表者	代表取締役社長 松本 輝雅
設立	1929年
資本金	1,000万円
従業員数	142人



会社概要

創業 88 年を迎える老舗金属切削加工メーカー。給湯機器、住宅関連機器から自動車、航空機まで幅広い分野の製品を製造している。24 時間フル稼働・同社による一貫生産体制を構築し、高品質・短納期化を実現している。また、高い技術力を背景に独自に開発した実験・検査装置も製造している。

ミクロン単位での切削加工、パイプ・ロー付け加工等の高度な加工技術により高精度の製品加工を可能としている。また、攪拌実験装置、画像認識装置等、実験・検査装置を自社製品として開発、販売も行うなど、高い技術力を有する。



会社外観

革新的な製品開発や創造的なサービスの提供に関する取組の内容

▶▶▶ 日本語学校を設立し、高度な外国人材を育成・活用

労働人口が減少している中で、これまで外国人労働者を積極的に受け入れてきたが、2014 年には同社で日本語学校を設立して高度な外国人材を育成している。

外国人材を社内で積極活用することで、加工技術の承継を図っている。現在、工員の 7 割が外国人労働者である。国籍もベトナム、ミャンマー、タイ、ネパールなど 8 カ国に及び、多国籍集団の活気あふれる工場になっている。



工場内作業風景

▶▶▶ 生産体制の改革により、「中ロット・多品種」の生産性が向上

同社では各取引先のニーズに対応するために、有能な外国人材を育成し、積極的に活用することにより 24 時間フル稼働の生産体制を確立。また、設計から加工、組立てまで一貫生産体制を構築していることや「TOC（制約理論）」をベースにした独自の工場レイアウトにより、中ロット・多品種の製品に対して高品質・短納期化を実現している。具体的には機械を「コ」の字型や「田」の字型に配置。これにより機械のセッティングが行われている間は、隣の作業者と調整し近くの機械も担当することができるようになり、ライン全体で大幅な効率化が図られている。



製品

▶▶▶ 日本のモノづくり文化承継のために尽力

同社は、全国屈指の中小製造業が集積する東大阪市に立地している。担い手不足で技術承継やモノづくり文化承継が進まない現状に危機感を持った現社長は、専門家を招聘し、無料で企業向けに生産革新セミナーを開催して技術承継、モノづくり文化承継を推進している。

また、自社日本語学校で外国人材を教育して人材確保に苦しんでいる企業に有能な外国人材を供給する体制を構築するなど、地域活性化に貢献している。



郊外授業